

# 新增設

# 想定しない？

# リプレース

(参考資料①より作成)

設置者	発電所名	号機	出力 (万kW)	運転開始年	40年後
関西	高浜	1	82.6	1974	2014
関西	高浜	2	82.6	1975	2015
関西	美浜	3	82.6	1976	2016
四国	伊方	1	56.6	1977	2017
日本原電	東海第二		110	1978	2018
関西	大飯	1	117.5	1979	2019
関西	大飯	2	117.5	1979	2019
九州	玄海	2	55.9	1981	2021
東京	福島第二	1	110	1982	2022
四国	伊方	2	56.6	1982	2022
東北	女川	1	52.4	1984	2024
東京	福島第二	2	110	1984	2024
九州	川内	1	89	1984	2024
東京	福島第二	3	110	1985	2025
東京	柏崎刈羽	1	110	1985	2025
関西	高浜	3	87	1985	2025
関西	高浜	4	87	1985	2025
九州	川内	2	89	1985	2025
日本原電	敦賀	2	116	1987	2027
東京	福島第二	4	110	1987	2027
中部	浜岡	3	110	1987	2027
北海道	泊	1	57.9	1989	2029
中国	島根	2	82	1989	2029
東京	柏崎刈羽	2	110	1990	2030
東京	柏崎刈羽	5	110	1990	2030
北海道	泊	2	57.9	1991	2031
関西	大飯	3	118	1991	2031
東京	柏崎刈羽	3	110	1993	2033
中部	浜岡	4	113.7	1993	2033
北陸	志賀	1	54	1993	2033
関西	大飯	4	118	1993	2033
東京	柏崎刈羽	4	110	1994	2034
四国	伊方	3	89	1994	2034
九州	玄海	3	118	1994	2034
東北	女川	2	82.5	1995	2035
東京	柏崎刈羽	6	135.6	1996	2036
東京	柏崎刈羽	7	135.6	1997	2037
九州	玄海	4	118	1997	2037
東北	女川	3	82.5	2002	2042
東北	東通	1	110	2005	2045
中部	浜岡	5	138	2005	2045
北陸	志賀	2	120.6	2006	2046
北海道	泊	3	91.2	2009	2049

日本国内にある原子力発電所を運転開始年順に並べたのが左表。40年運転を守れば、原子炉の数は2030年におよそ半分、今から約20年後の2037年を超えると残り5基になります。(表の赤枠内)

さて、現在国会が開かれており、原発についても少し議論されています。そんな中で今回は原発の新增設・リプレースについて

2016年1月15日 参議院予算委員会

(参考資料②)

林幹雄 経産大臣答弁

政府としては、既存の原発の安全確認が進められているところでありまして、**現段階においては、新增設、リプレースは想定していない**ところでございます。

水野賢一氏 (民主党新緑風会)

原発というのは別に国がやっているんじゃないかと、事業者がこれリプレースしようとしたりとか新增設しようとするんですよね。**想定していない**というのはどういうことですか。

林幹雄 経産大臣答弁

新たに新設あるいは増設は想定していないということでございまして、それ以上でもそれ以下でもございません。

水野賢一氏 (民主党新緑風会)

**想定していない**というのは、じゃ、あれですか、**新增設**をどこかが申請してきても、それは原子力規制委員会は想定外だから審査は一切しませんという、そういう意味ですか。

林幹雄 経産大臣答弁

仮に申請をすれば、原子力委員会は審査をすると判断をするのではないかと、いうふうに思いますけれども、**現段階において事業者が申請をするということは考えられない**わけでございます。  
というのは、**今現在**、既存の原子力発電所を、安全基準を満たしているかどうか、それを審査を進めているところでございまして、新たな新設、増設、そういうリプレースを申請することは**ちょっと考えられない**ところでございます。

## 事業者は何を考えてるか？

### 2014年1月24日 八木 誠 電気事業連合会会長会見

(参考資料③)

40年を超えるプラントも含め、安全が確認された既設炉の有効活用、**新增設・リプレイス**、原子燃料サイクル事業などを**重要政策**として、着実に推進していただきたいと考えております。

### 村松 衛 日本原子力発電株式会社取締役社長 会社案内の挨拶

(参考資料④)

当社は（中略）原子力の課題解決に先進的に取り組む「原子力技術プラットフォーム会社」を目指してまいります。  
そのために既設発電所の運営、**敦賀発電所3,4号機増設計画の推進**、福島第一原子力発電所への支援、廃止措置事業、海外事業の5つを**事業の柱**とし、（中略）経営改革を進めてまいります。

### 中国電力ホームページ 上関原発ページ

(参考資料⑤)

当社としては、バランスのとれた電源構成の実現、電力の安定供給確保、価格の安定性、地球温暖化防止の観点から、**上関原子力発電所の重要性や位置づけに変わりはない**と考えております。

再び予算委員会の議論に戻って。。。。

### 2016年1月15日 参議院予算委員会

水野賢一氏（民主党新緑風会）

**想定していない**というのは、じゃ、審査とか許認可とかは、そういうようなものは行わないわけではないわけですね。**国としては行われたことはやっていくという、そういう理解でいいんですか。**

林幹雄 経産大臣答弁

今ほど答弁申し上げましたとおり、**規制委員会の判断だと理解しております。**

### 少しだけ感想を

おっと、ここでも「規制委員会の判断」出ました。  
要するに、安倍政権の考えは、

”今この瞬間”に限れば、電力会社は再稼働に必死なので、新增設・リプレイスを申請することはないと思います。  
まあ、もし電力会社が申請してくれば、それは原子力規制委員会が判断するんじゃないですか？

・・・言ってることはそこらの世間話並みに中身がないです。

再稼働については『原子力規制委員会により世界で最も厳しい水準の規制基準に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し原子力発電所の再稼働を進める』と言い、  
「**新增設・リプレイス**」についても『**規制委員会の判断**』  
この政権は原発については徹底的に他人事です。（「動かせ」とだけは言うんですけどね。。）

#### 参考資料

- ①資源エネルギー庁HP 原子力政策の現状について「原子力発電所の状況」  
[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/nuclear/001/index.html](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/index.html)
- ②参議院HP 会議録情報  
<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kaigirok/kaigirok.htm>
- ③電事連HP 会長定例会見2013年  
[http://www.fepc.or.jp/about\\_us/pr/kaiken/2013.html](http://www.fepc.or.jp/about_us/pr/kaiken/2013.html)

- ④日本原子力発電株式会社HP ご挨拶  
<http://www.japc.co.jp/company/greeting.html>
- ⑤中国電力HP 上関原子力発電所（準備工事中）  
[http://www.energia.co.jp/atom/kami\\_menu.html](http://www.energia.co.jp/atom/kami_menu.html)